

情報コーナー

徳島県立文書館

～第63回企画展「住吉村組頭庄屋山田家と吉野川」～

吉野川と旧吉野川にはさまれた中島に位置する板野郡住吉村（現藍住町）。江戸時代、山田家は周辺地域の村々を統括する「組頭庄屋」として幅広い任務をこなしてきました。山田家に残された古文書や絵図を中心に、当時の人々と吉野川との関わりについて紹介します。
○期 間：10月26日（火）～令和4年1月31日（日）
○観覧料：無料

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎088-668-3700（徳島県立文書館）

上板町立歴史民俗資料館

～古文書巡回展示・れきみん冬休み企画のご案内～

令和元年に日本遺産に認定された「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」魅力発信事業として、初年度に調査を行った古文書を中心とした9市町巡回展示を開催しております。上板会場は技の館のフロアにて巡回史料を展示しているほか、技の館と歴史民俗資料館とのタイアップ企画等を予定しています。

上板会場では上記の巡回史料（古文書）のほか、上板町立歴史民俗資料館にて寄託を受けている江戸時代の紺屋史料「近江屋文書」を展示します。

楽しみながら古文書や藍を学ぶコンテンツとして、藍のインクを使って古文書体験ができるワークシート「古文書を書いてみよう！近江屋文書なぞり書き」や双六「目指せ藍大尽！」といったものを用意しており、技の館にて藍染体験・藍の生葉染め体験なども体験可能です。

また、歴史民俗資料館では冬休み企画「ふくわらい カルタづくりで お正月」を開催いたします。上板町のキャラクター「かきじい」のふくわらいと「みんなで作る！れきみんカルタ」、「かみいたぐるり双六」「折紙ポチ袋づくり」など、お正月の遊びを体験できる企画となっております。11月の文化の日推進月間より実施している「しめ縄体験」もワラがなくなるまで実施しておりますので上板町立歴史民俗資料館へのご来館をお待ちしております。

☆日本遺産「藍のふるさと阿波」古文書巡回展示「古文書を読み解く！～阿波藍を生業とした先人の歴史～」上板会場

○期 間：12月3日（金）～12月14日（火）
午前9時～午後4時30分（月曜休館）

○場 所：上板町 技の館

○入場料：無料

※藍染体験等技の館の体験メニューは別途体験料が必要

☆れきみん冬休み企画「ふくわらい カルタづくりでお正月」

○期 間：12月20日（月）～令和4年1月7日（金）
午前9時～午後4時30分（平日のみ開館）

○場 所：上板町立歴史民俗資料館

○入場料：無料

〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋8-1

☎088-694-5688（上板町立歴史民俗資料館）

徳島市立考古資料館

☆常設展示解説会

常設展示がリニューアル！中世の展示コーナーを新設しました。さらにこれまでの発掘調査で出土した弥生時代から平安時代までの考古資料も追加しています。

○日 時：12月16日（木）、令和4年1月20日（月・祝）、令和4年2月11日（金・祝）、令和4年3月6日（日）

※いずれの日も午前11時から12時

☆遺跡と遺物に学ぶ考古学講座

徳島市内の遺跡や出土した考古資料について学芸員が解説します。

○第7回「渋野丸山古墳に学ぶ」

・日 時：12月25日（土）午後2時から3時半まで

・場 所：現地集合、現地解散

※12月1日より受付開始（電話もしくは事務室にて直接）

○第8回「八倉比売神社古墳群に学ぶ」

・日 時：令和4年1月29日（土）午後2時から3時半まで

・場 所：徳島市立考古資料館集合

※12月15日より受付開始（電話もしくは事務室にて直接）

☆とくしま好古楽倶楽部

昔の物づくりの技術について、実際に体験しながら学んでみます。

○第9回「和風をつくってみよう」

・日 時：令和4年1月9日（日）午後1時から4時

※12月1日より受付開始（電話もしくは事務室にて直接）

○第10回「円筒埴輪をつくってみよう」

・日 時：令和4年2月13日（日）午後1時から4時

※令和4年1月15日より受付開始（電話もしくは事務室にて直接）

☆令和3年度冬季企画展「徳島市の遺跡Ⅷ

奥谷1号墳」

気延山古墳群を構成する古墳の一つである奥谷1号墳に焦点を当てた展示をおこないます。

○期 間：令和4年1月25日（火）～令和4年3月21日（月・祝）

〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷10-1

☎088-637-2526（徳島市立考古資料館）

各館（園）の展示や催し物などについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または変更になる場合がありますので、記載の電話番号やホームページ等でお確かめください。

徳島県博物館協議会ニュース No.68

令和3年12月1日発行

編集・発行者

〒770-8070

徳島市八万町向寺山 徳島県立博物館内

徳島県博物館協議会事務局

TEL. 088-668-3636 FAX. 088-668-7197

徳島県博物館協議会

12月 2021

NO. 68

ニュース

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立されました。現在は48館で組織しています。

各加盟館の情報は、WEB上では「徳島県博物館マップ」からご覧いただけます。

(<https://museum.bunmori.tokushima.jp/tokuhakukyo/default.htm>)



活動報告

連携事業

第1回ワーキンググループ

令和3年度の総会にて、各館（園）の連携事業創出に向けた人的交流の活性化についての提案がなされ、ワーキンググループの設置などが承認されました。その後、第1回のワーキンググループによる会議が10月13日、徳島県立博物館にて、4館10人の有志が参加して開催されました。

各館や地域としての課題を共有し、目指す方向を確認することができました。具体的な企画や内容の検討も大切ですが、まずはワーキンググループの方向性の確認が優先となりました。過去の県博協等各館連携して行った巡回展や調査事業、ワークショップ等について、参加した各分野、各年代の学芸員がそろって情報を共有しました。

その上で協議し、いくつか萌芽的なアイデアも提示されました。「道」「地名」「藍」「絵馬」「魚」「地震・震災」といった大づかみなテーマ、そこに多分野からアプローチする手法等。こうしたアイデアが、やがて連携した展覧会やワークショップにつながっていくはずです。

次回以降、話題性や実現性等、いろいろな要素を踏まえて徐々に具体化していきたいと考えています。最後に来年度企画を実施することを目標とし、継続してワーキンググループで協議することを確認しました。取り組みに興味を持たれた加盟館がありましたら、徳島県博物館協議会事務局まで、ご連絡をお願い致します。

研修会

徳島県立博物館で開催

令和3年度の研修会は、11月17日、徳島県立博物館で20館（園）23人が参加して行われました。徳島県立博物館は、8月9日に常設展を全面リニューアルしました。新常設展は、「徳島まるづかみ！ー“いのち”と“とき”のモノ語りー」をコンセプトに、豊富な資料や映像コンテンツを用いて、徳島の自然と歴史・文化を総合的に紹介しています。研修では、新常設展の視察の後、意見交換を実施しました。「音声・手話解説や多言語化などにより展示物が見やすく、誰もが快適に利用できる展示であった」、「カラーユニバ

ーサルデザインを取り入れ、展示物が映えるフロアの配色がなされている」、「AR、VRや映像を活用した体験型展示に興味、関心が持てた」、「県民と一緒にいる調査研究の活動成果を発表する「県民コレクション」を参考にしたい」などの意見が共有でき、有意義な研修会となりました。



後援事業紹介

鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム

～現地研修会「阿波藍ゆかりの地を歩こう in 美馬」～

鳥居龍蔵は、徳島が生んだ世界的な人類学者で、地域研究に一生を捧げました。徳島県立鳥居龍蔵記念博物館では、徳島県立博物館とともに、鳥居龍蔵の業績を記念し、徳島県在住の中学生、高校生が研究の成果を発表する徳島歴史文化フォーラムを毎年開催しています。今回は、その関連行事として11月14日（日）に行った現地研修会「阿波藍ゆかりの地を歩こう in 美馬」を紹介いたします。

この企画は、徳島歴史文化フォーラムへのエントリー（自主研究レポート提出）予定者を対象に、文化遺産に接する機会をつくるとともに、実際にフィールドワークを行うことによって、研究活動の楽しさを体験することを目的とするものです。当日は、脇町南町、脇城跡周辺、また、脇町の対岸にある穴吹町舞中島地区（以上美馬市）をめぐるフィールドワークを行いました。講師の拜郷哲也氏（美馬市教育委員会）と松永住美氏（美馬市文化財保護審議会）による丁寧な解説があり、大変充実したのになりました。中学生、高校生は真剣な眼差しで解説に聞き入るとともに、積極的に質問する姿もあり、有意義な現地研修会になりました。

令和4年2月26日（土）、文化の森イベントホールにて開催予定の徳島歴史文化フォーラムに向けて、充実した研究発表ができるよう、中学生、高校生へのサポートを続けていきたいと思っております。



脇城跡周辺のフィールドワーク 舞中島地区のフィールドワーク

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎088-668-2544（徳島県立鳥居龍蔵記念博物館）

情報コーナー

平家屋敷民俗資料館

～常設展示コーナーをジャンル別にリニューアル～

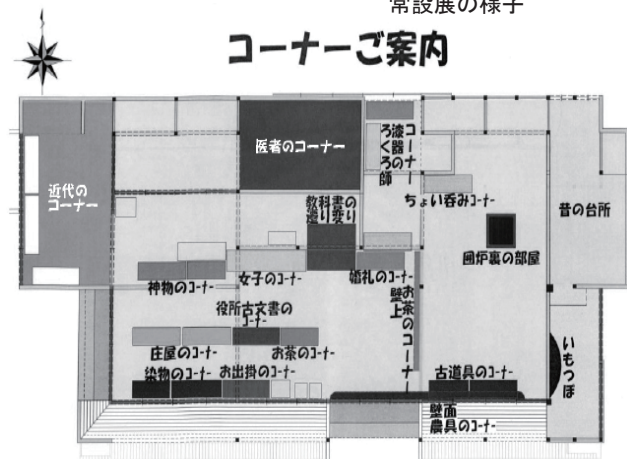
当館は9月に、常設展示物をジャンル別に展示し、解説も新たに添えてリニューアルいたしました。

慶応3年(1867)建築の建物をそのまま資料館としており、200年近く囲炉裏で火を焚くことによって燻された屋根裏や、合掌造り(けや木)の迫力の黒艶を、ご覧いただけます。常設展示物と同時に伝統ある建物の雰囲気も味わっていただきたく思います。(母屋と蔵は、平成21年に三好市重要有形文化財に指定。)

山深く自然豊かな場所であり、庭には時代を見守り続けた名木もあります。そんな中でゆっくりしたお時間を過ごしていただけますと幸いです。



常設展の様子



〒778-0105 三好市西祖谷山村東西岡46番地

☎0883-84-1408(平家屋敷民俗資料館)

阿波木偶人形会館

阿波木偶人形会館は、人形浄瑠璃の総合展示場で、初代人形健(人形制作者)・二代目人形健・弟子が手掛けた木偶人形を数多く常設展示し、人形浄瑠璃芝居の名場面のセットや明治期の古代衣装の再生、木偶の歴史関係など、随時新作の入れ替えも行っております。また、お越し頂いたお客様に、頭の制作過程、カラクリの仕組みなどについて手にとって頂くなどしてわかりやすく解説しています。世界最大の人形頭も展示。ビデオ(テレビ)にて、人形浄瑠璃芝居の放映も致しております。

是非一度、みなさまのご来館をお待ち致しております。

〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦226-1

☎088-665-5600(阿波木偶人形会館)

阿南市立阿波公方・民俗資料館

～史跡若杉山辰砂採掘遺跡コーナー～

令和元年10月16日に国史跡に指定された「若杉山辰砂採掘遺跡」を紹介するミニ展示を行っています。

全国で唯一の弥生時代末期から古墳時代初頭の辰砂採掘遺跡です。遺跡の地理、辰砂を原料とする水銀朱の生産や流通、使用例などを資料をコンパクトに紹介するものです。

〒779-1234 阿南市那賀川町古津339-1

☎0884-42-2966(阿南市立阿波公方・民俗資料館)

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

～阿波人形浄瑠璃芝居～

☆徳島の伝統芸能である阿波人形浄瑠璃「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」を上演。

○期間

- ・1月・2月 平日11:00～(音源CD)土、日、祝日11:00～、14:00～(太夫・三味線付き)
- ・3月～12月 毎日11:00～、14:00～(音源CD)土、日、祝日は、太夫・三味線付き

○場所:徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

※公演時間は約35分間です。

※変更になる場合がありますのでお問合せください。

☆第16回徳島浄瑠璃の会 全国競演大会

○日時:12月5日(日)9:25～16:45

12月6日(月)9:40～16:10

○入館料:大人410円、高・大学生310円、小・中学生200円

○場所:徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

☆第23回徳島県民文化祭分野別フェスティバル「受け継がれる伝統芸能」

○日時:12月11日(土)～12日(日) 両日10:30～

○入館料:大人410円、高・大学生310円、小・中学生200円

○場所:徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

☆和の空間でいけばな

○日時:12月18日(土)13:00～

○参加料:2,500円(入館料含む)

○場所:徳島県立阿波十郎兵衛屋敷母屋

※要申込み(前日まで)

☆第8回阿波路会

○日時:12月19日(日)16:00～17:30

○演目:「玉藻前囃袂 道春館の段」太夫/竹本友和嘉・三味線/鶴澤友勇

○解説:正井良徳(公財)淡路人形協会理事長

○料金:1,500円(入場料+床本代)

※未就学児の入場はお断りします。

○場所:徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦184

☎088-665-2202(徳島県立阿波十郎兵衛屋敷)

情報コーナー

徳島県立文学書道館

～文学企画展・特別展のご紹介～

☆企画展「生誕150年 徳島文壇の開拓者 井上羽城」

井上羽城は福井県に生まれ、東京で文学を学んだのち、明治30年(1897)、新聞記者として徳島に来県。徳島新報(現・徳島新聞)や徳島毎日新聞(同)において文芸欄の創設と普及に努めたほか、自らも小説や詩、短歌、俳句などを発表しました。その深い学識と高潔な人柄で多くの人から慕われ、徳島文壇の指導的、啓蒙的役割を果たしました。

生誕150年にあたり、徳島の文学の発展に寄与した羽城の業績を紹介します。また、羽城と交流のあった野口雨情ら著名人たちからの書簡なども併せて展示します。

○期間:11月3日(水・祝)～令和4年1月16日(日)

○観覧料:一般310円 高校・大学生200円

小・中学生100円

※小・中・高校生は、土・日・祝日、冬休み期間中は無料

※65歳以上の方と各障がい者手帳をお持ちの方は半額

☆特別展「中原中也ー汚れっちまった悲しみに」人間の悲しみや寂しさを、真つすぐな詩心と少年のようなまなざしで写し取った詩人・中原中也(1907-1937年)。「サーカス」「汚れっちまった悲しみに……」「一つのメルヘン」など深い叙情と澄み切った感性の結晶した詩は、多くの人々の心を慰めてきました。今なお愛され続ける中也の作品世界を紹介します。

○期間:12月11日(土)～令和4年2月12日(土)

○観覧料:一般520円 高校・大学生360円

小・中学生260円

※小・中・高校生は、土・日・祝日、冬休み期間中は無料

※65歳以上の方と各障がい者手帳をお持ちの方は半額

〒770-0870 徳島市中前川町2丁目22-1

☎088-625-7485(徳島県立文学書道館)

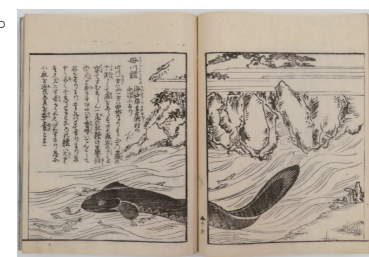
徳島県立博物館

～常設展「歴史・文化コレクション」展示替えのご案内～

☆歴史・文化コレクション

「名所図会でめぐる江戸時代」

名所図会は、江戸時代後期以降、さかんに出版された地誌の一つです。神社仏閣や名所旧跡はもとより、山、川、風景、名産、行事などが平易に紹介され、挿絵が豊富に描かれている点が特徴です。現在で例えると「旅行ガイドブック」に相当すると言えるでしょう。文化11年(1814)には、「阿波名所図会」が発行されています。



阿波名所図会「母川鰻」

今回の展示は、阿波と三都(京都・大坂・江戸)を中心に、博物館所蔵の名所図会を紹介します。コロナ禍により、都市部への移動や旅行が制限されるなか、名所図会を通して、つかの間のタイムトラベルを楽しんでいただければと思います。

○期間:開催中～令和4年1月23日(日)

○展示解説

- ・日時 ①12月11日(土)14:30～15:00 ②令和4年1月23日(日)15:30～16:00

・場所 常設展示室(2階)

・対象 小学生から一般(小学生は保護者同伴)

・備考 申し込みは不要

常設展示室観覧料が必要

※常設展 歴史・文化コレクション展示のご観覧には、常設展示室観覧料が必要となります。

・観覧料:一般400円、高校・大学生200円、小・中学生100円

・祝日・振替休日は観覧無料

・土・日曜日、祝日・振替休日、長期休業日は高校生以下無料

・各種減免あり

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎088-668-3636(徳島県立博物館)

川口ダム自然エネルギーミュージアム

～川口エネ・ミュー 冬のイベント紹介～

☆門松づくり

○開催日:12月24日(金)、25日(土)、26日(日)

○時間:①11:00～ ②14:00～(1日2回開催)

○場所:相生ふるさと交流館

○材料費:200円

○定員:各回5組(1組5名以下)

※申込多数の場合は抽選

○申込締切:12月17日(金)

○申込方法:電話0884-62-2209

☆白川英樹博士監修 特別実験教室

～導電性プラスチックを作ろう! 透明フィルムスピーカーへの応用～

※今回の実験教室に白川博士はお越しになりません。

○開催日:令和4年1月22日(土)

○時間:13:00～16:30

○参加料:無料

○場所:那賀町林業ビジネスセンター

○対象:小学校5年生～中学校3年生

○定員:10名

※監修:白川英樹氏(筑波大学名誉教授)

※協力:全国科学館連携協議会・日本科学未来館

○申込締切:令和4年1月15日(土)

○申込方法:電話0884-62-2209

※年末は12月28日(火)まで、年始は1月2日(日)より開館します。

〒771-5408 那賀郡那賀町吉野字イヤ谷72-1

☎0884-62-2209(川口ダム自然エネルギーミュージアム)